

岸辺なる

石積む堤

さながらに

長城めぐる里

あゝ わが母よ

あゝ わが母よ ふるさとよ

あかねさす

あだたらの嶺

灯ともりぬ

まどけき里に

あゝ わがまちよ

あゝ わがまちよ

もみやよ

2006年も残すところ僅かとなりました。今年一年町民の皆様には議会に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本宮町は間もなく白沢村と合併し「本宮市」が誕生いたしますが、これにちの本宮町の姿は、地理的立地条件に加えて環境や風土に恵まれ着実に飛躍することができたのではないのでしょうか。特に、交通体系の整備によって企業の進出が相次ぐなど本宮町の産業、経済を大きく発展させてまいりました。

しかし、昨今の社会構造や経済状況の変化は、本町にとっても大きな影響を及ぼし、行政を取り巻く環境が年々厳しい状況となっておりますことは憂慮すべきことと思えます。これに、国、地方あげて取り組んでいます行財政改革、少子高齢化対策、安全・安心対策等々は、本町としても最優先の重要課題と位置づけ行政運営を進めてまいりましたが、国が推進する平成の大合併のもと、さらにはしっかりと行政基盤を構築し効率的、効果的な行政運営を目指すために白沢村との合併を遂行し、来る1月1日をもって行政の新たな枠組みを実現することになりました。

この合併によって、本宮町としての半世紀にわたる歴史に幕を閉じることとなり一抔の寂しさはありますが、先人から培われた豊かな自然環境、歴史文化は変わるものではなく、これを機にさらなる飛躍を遂げるものと期待しております。

ここに、本宮町の閉町を見とどけますとともに、新市の本宮市に夢と希望が満ち溢れることを念願いたしましたことあいさついたします。



本宮町議会議長
高松 義行